

活動指標、成果指標

事業を実施するにあたり、指標及び目標値を設定し、これに基づく実績値を示しています。

活動指標：どのような活動を行うのか、どのようなサービスを市民に提供するか等、行政が行う活動量を表す指標。

成果指標：実際に行う活動や提供するサービスの結果、どのような効果をどれだけあげることができるのかを表す指標。

説明・算定式

指標の説明を要するものについて記載しています。

検証結果

成果指標の目標値に対する実績値の割合による評価です。

- A：成果があがった
・・・90%以上
- B：おおむね成果があがった
・・・70%以上90%未満
- C：十分に成果をあげることができなかった
・・・70%未満

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置づけ

事務事業名	市民・企業・大学等交流事業		
事業担当	企画政策部 企画政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	01 基本目標1 豊かな心をばくくみ、よここひとふれあいにあふれたまち 03 ③(交流) ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる 01 1 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する		
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民団体等】		
目的・目標	事業の概要		
市民、企業、大学等が相互に発展し、心豊かな地域社会となるよう、それぞれが持つ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われています。		市民、企業、大学等の交流を促進するため、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光等の各分野における交流事業の充実に図ります。	

総合計画の位置づけ

「平塚市総合計画 生活快適・夢プラン」における位置付けを示しています。

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業数				単位	事業
	説明・算定式	平塚市民・大学交流委員会による交流事業数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
成果指標①	指標名	交流事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
進捗状況	①：予定どおり 遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果	平塚市民・大学交流委員会の文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光の5つの推進部会により14事業を実施し相互の交流が活発に行われました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

平成26年度の目標値と実績値を表しています。

進捗状況

活動指標の目標値に対する実績値の割合による評価です。

- ：予定どおり
・・・90%以上
- ：若干遅れている
・・・70%以上90%未満
- ：遅れている
・・・70%未満

進捗状況が または の場合のみ、遅れている理由を掲げています。

事業分析

事業を「必要性」、「有効性」、「妥当性」、「効率性」の4つの観点から分析しています。

今後に向けた課題の分析

今後、事業を進めていくにあたり、課題を明確にしています。

執行率

予算額に対する決算額の割合を示しています。

今後の事業展開

事業担当課として、今後の事業の取組みについて、方針を示しています。
平成25年度に事業が終了したもの、及び平成26年度に事業が終了予定のものについては、記載がありません。

2頁

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価		
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	市民と大学との交流事業を実施するに当たり、平塚市民・大学交流委員会の組織は必要なものであり、その中で本市が調整することによって、協働による事業が実施されています。	● 高 ○ 低	
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	事業計画・実施においては、平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会により、協議、実施しており、市民ニーズを取り込んだ満足度の高い事業です。	● 高 ○ 低	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 □ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	5つの推進部会により、12事業が実施され、参加者も多く妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> □ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	市民と大学との交流事業の実施に当たっては、経費節減に努めます。	○ 高 ● 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析 天候に左右される事業があり、参加者数に影響しています。より多くの市民等が参加できるように事業内容の見直し、新規事業の提案、各部会間の調整が必要です。					
2. 年度別事業内容・決算額 (単位:千円)					
		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		市民・大学交流委員会による交流事業等	市民・大学交流委員会による交流事業等	市民・大学交流委員会による交流事業等	市民・大学交流委員会による交流事業等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,913	1,639	1,843	2,541
事業費(A)		1,913	1,639	1,843	2,541
執行率(%)		92.73	79.45	96.75	
4. 今後の事業展開(担当課としての提案) 平成28年度の取組方針 平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で12の事業を実施します。市民の参加を得るための工夫と、事業実施結果の評価により、事業の充実を目指します。					
課長コメント 本事業は、大学、企業等との連携による幅広い分野における市民との交流環境を創出するもので、必要性は高いと考えます。今後も市民ニーズ等を考慮した事業内容としていくことで、活発な交流を目指します。					

決算額・予算額・事業内容

各年度に実施した事業内容及びこれに要した事業費を表しています。
事業費は、当該年度の予算の他、継続費等その年度に執行した費用の合算です。
実施する内容がない場合は、事業内容を「未記入」としています。
事業費を要しない事業の場合、事業費を「0」で記載しています。